

地域医療連携室ニュース 第48号 2014年10月

木々の葉も色づきだし、朝夕の冷え込みも日に日に増してきましたが、地域の医療機関様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。さて、今回の地域医療連携室ニュースでは、先日に行われました「池田市民健康フォーラム」における市民公開講座の様子と、形成外科 福田部長による、「下肢静脈瘤」の特集をお送りいたします。



【第4回池田市民健康フォーラム】開催日：平成26年9月7日（日）

今回で第4回目となる池田市民健康フォーラムは、当院を含め、全26団体の参加となりました。小南市長による開会の挨拶で始まり、様々なイベントも開催されました。

当院は、消化器外科主任部長の太田先生による講演で、多くの方に傍聴していただく事が出来ました。詳細は下記をご覧ください。



【市民公開講座～切れ目のない医療の ネットワークと質の高い医療を目指して～】 -市立池田病院がめざす 患者目線の大腸がん治療-



消化器外科 太田主任部長による講演「市立池田病院がめざす患者目線の大腸がん治療」では、手術（イラスを含む）・緩和・化学療法など幅広い視点から患者目線でのお話がありました。

今井病院長から在宅医療連携強化についての話もあり、限られた時間の中、来場者の皆様に最後まで熱心にご静聴いただきました。

→最終面に講演のアンケート結果を掲載しております♪

→続いて、下肢静脈瘤の特集をご覧ください☆☆

下肢静脈瘤について（原因）

形成外科部長
福田健児

今回は、下肢静脈瘤の原因とその治療について説明します。

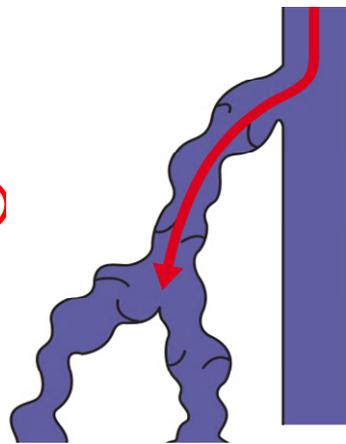
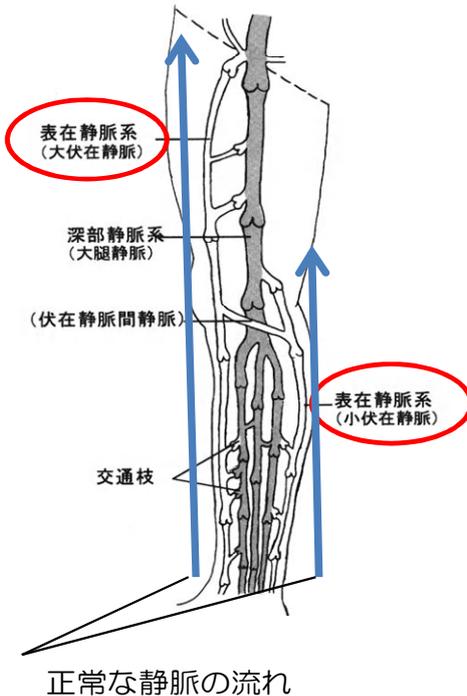
下の写真のように下肢の血管がぼこぼこ膨らんだり、それに伴い下肢が重くだるく、痛くなったりする患者様はおられませんか？ そういう症状の場合一次性下肢静脈瘤のケースが多いです。放置しておくと、皮膚炎や潰瘍を併発することもあります。



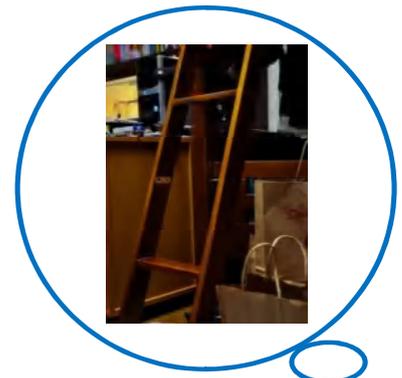
①大伏在型静脈瘤 ②側枝型静脈瘤 ③網目状静脈瘤 ④クモの巣状静脈瘤

原因は、表在静脈（大伏在静脈・小伏在静脈のいずれか、または両方）の逆流です。本来この血管は逆流防止弁があり足から重力に逆らって少しずつ心臓の方に血液を還流役目があります。しかし、一次性静脈瘤の場合、逆流防止弁が機能せず、正常に流れないで血が血管に溜まった状態になっています。立ったり座ったりしている間は重力の影響もあり、長い年月を経て表在静脈やその枝が拡張し静脈瘤となるのです。

機能不全に陥った表在静脈は簡単に言うと「壊れたハシゴ」と同じです。



静脈瘤では逆流しています



「壊れたハシゴ」をイメージすると分かりやすい

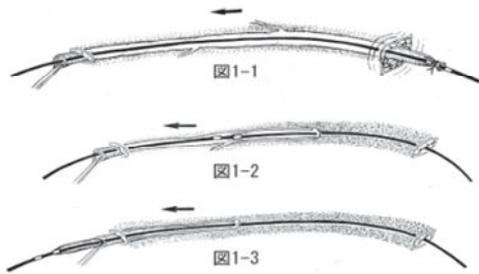
下肢静脈瘤について（治療）

治療法の中心は、機能していない大伏在静脈を抜去、または小伏在静脈を部分的に切除することです。少し、乱暴に聞こえるかもしれませんが、静脈の流れは、前頁の図の深部静脈で保たれていますので、問題になりません。「壊れたハシゴ」は事故のもとで、大切においておいても意味がないのと同じです。

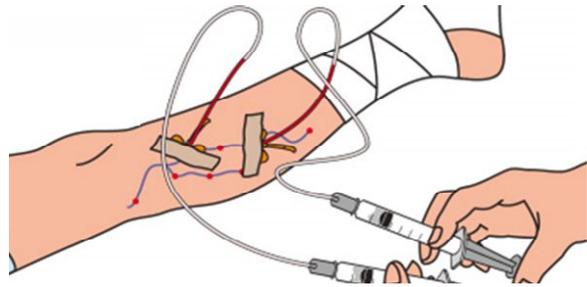
逆流がなくなっても、長年かけて拡張した静脈瘤が目立つ場合があります。その場合、硬化療法を外来で追加することにより、見た目もよくなります。

当院では抜去（ストリッピング）は腰椎麻酔か全身麻酔で3～4日ほどの入院で行っております。部分切除は局所麻酔で日帰りが可能です。

硬化療法は外来で処置室で行います。



ストリッピング
（数か所小切開し、特殊なワイヤーで抜去します。）



硬化療法
（外来で硬化剤を静脈瘤に注射で注入します。）



術前



術後

（抜去（ストリッピング）＋硬化療法後）

血管内レーザー焼灼術



平成23年より一部レーザー手術（特殊なファイバーで血管内よりレーザーで病的血管を焼く）が保険適応となっておりますが、当病院では未導入です。

ただし、血管内レーザー焼灼術はすべての症例に可能なわけではありません。

ご希望の方は各施設へ紹介させていただきます。

【第4回池田市民健康フォーラム】

市立池田病院 市民公開講座～切れ目のない医療のネットワークと質の高い医療を目指して～
『市立池田病院がめざす 患者目線の大腸がん治療』 消化器外科 主任部長 太田 博文

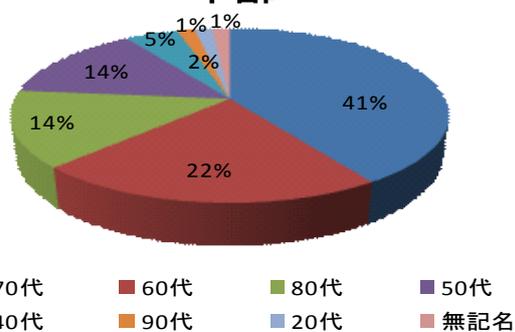
アンケート集計結果

参加人数 75名

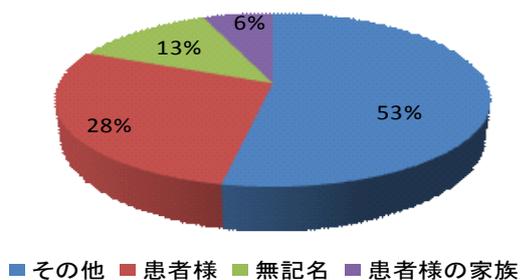
アンケート回収 64名

回収率 85.3%

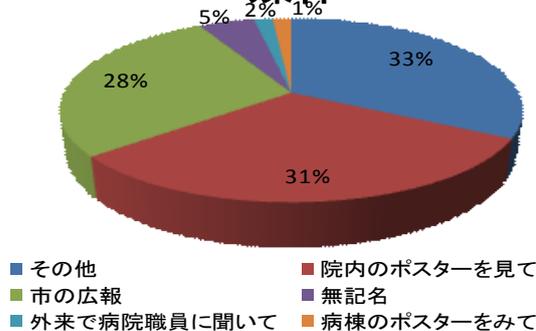
年齢



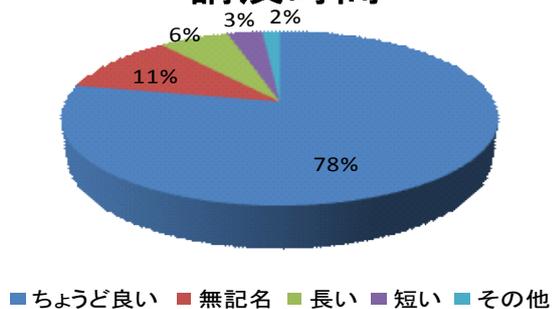
当院の患者様か



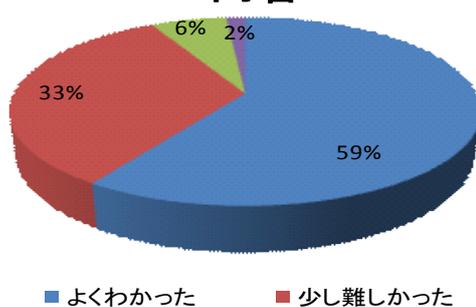
媒体



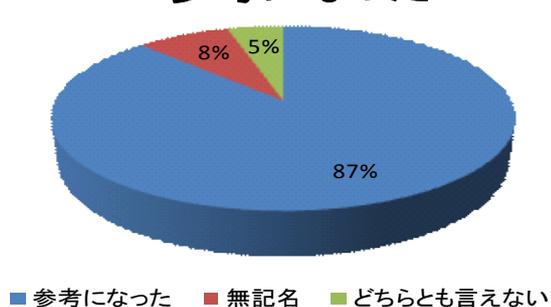
講演時間



内容



参考になった



スライドについて

